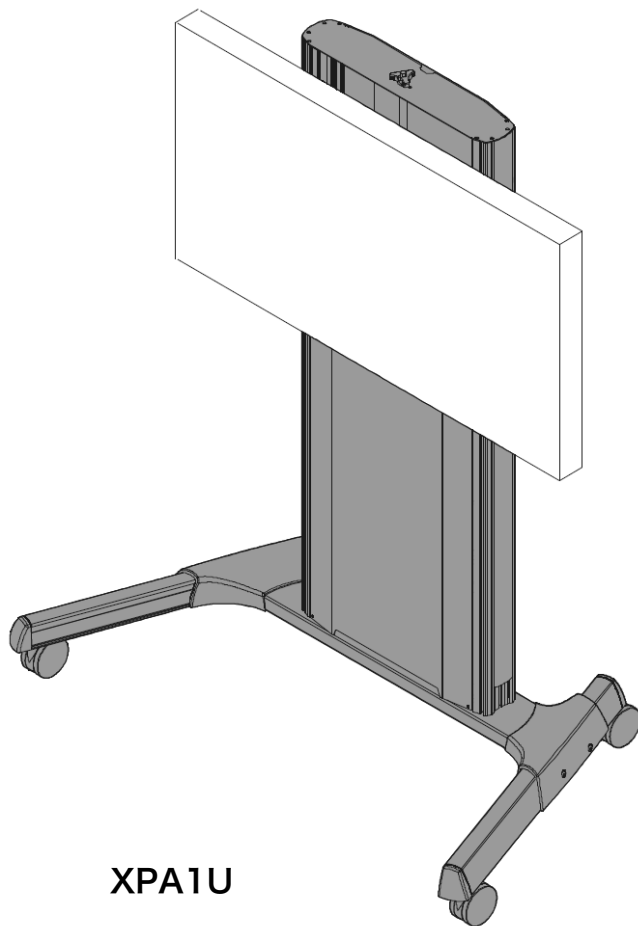


取扱説明書



大型ディスプレイスタンド

型番 XPA1U



XPA1U

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、傾斜のない平らな場所に設置してください。
- ディスプレイを取り付ける際は必ず4名以上で行い、ケガや事故の無いように注意して設置してください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。
- 指定している高さ以上に設置しないようにしてください。
- 地震などの災害発生時には転倒の恐れがありますので、ディスプレイスタンドに近寄らないようにしてください。

安全上のご注意

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生可能性がある内容を示しています

-  **警告**：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。
-  **警告**：取り付けしているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。
-  **警告**：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。
-  **警告**：ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。
またケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。
-  **注意**：運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設 置 の 前 に**■設置場所について**

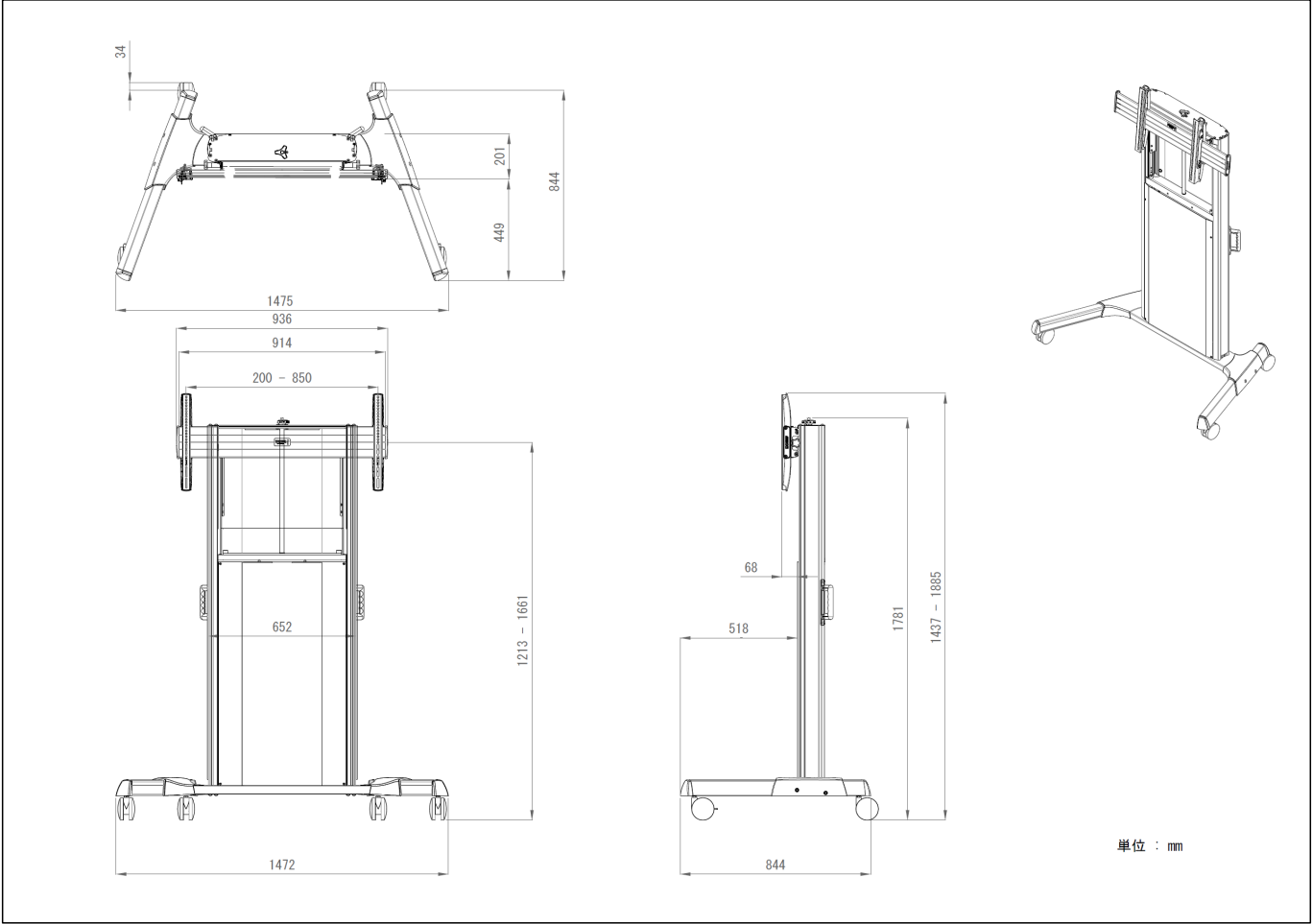
- 傾斜や段差のない、平坦で滑らかなオフィス用カーペット敷きまたはコンクリートあるいはそれに類する床でご使用ください。毛足の長いカーペットではキャスターやスタンド本体が破損することがあります
- ディスプレイを取り付けたスタンドが揺れたり、床が沈むような場所での設置はしないでください。
- スタンドの設置位置が決まったら、必ずキャスターのストッパーをかけてください。
- キャスター部分を取り外したり、加工はしないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。転倒や破損、重大なケガの原因となります。
- 地震など万一の災害の際はディスプレイスタンドから離れ、二次災害を防いでください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

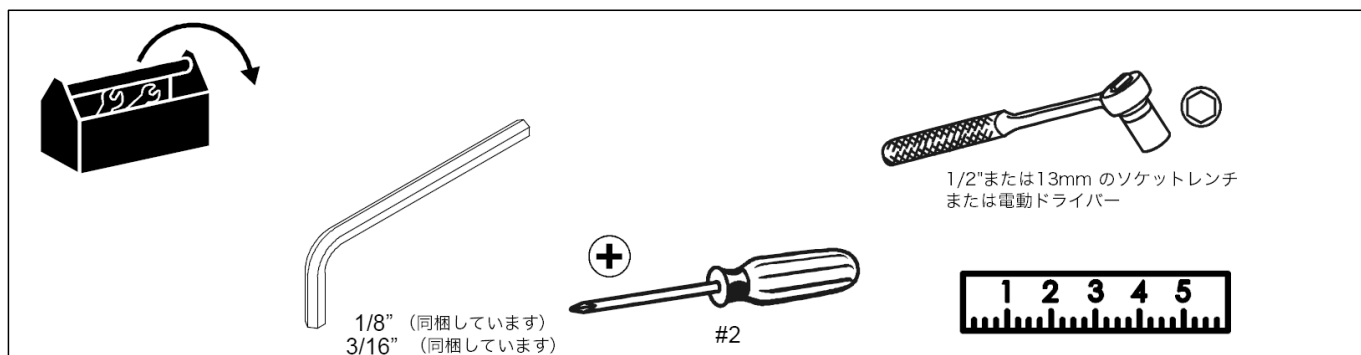
1. 本製品を組み立てるネジ等は、付属品を用い、十分な強度を持ったものをご用意ください。
2. 本取扱説明書の安全上の注意の設置場所についてよくお読みのうえ、ディスプレイスタンドの適切な設置場所を決めてください。
3. 本製品の組み立てに際してビス固定する場合は、先に仮止めしてから本締めをしてください。
4. 取り付けることができるディスプレイおよびアクセサリーのトータルは136kgを超えないようにしてください。
5. 本製品に取り付けることができるディスプレイサイズは100インチ以内です。

■各寸法図

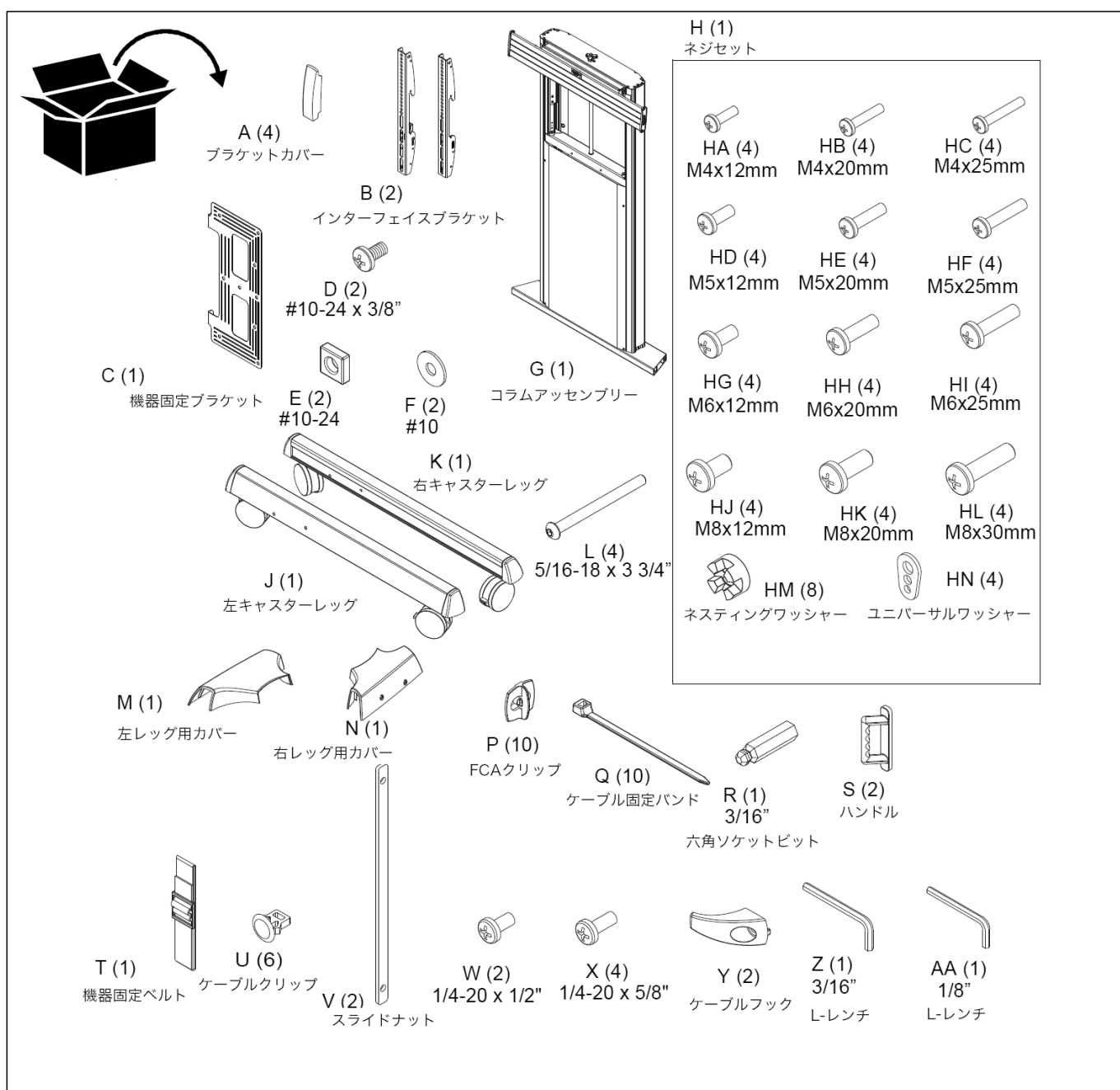


組立手順

■本体の組立に最低限準備いただく工具



■本製品の封入物



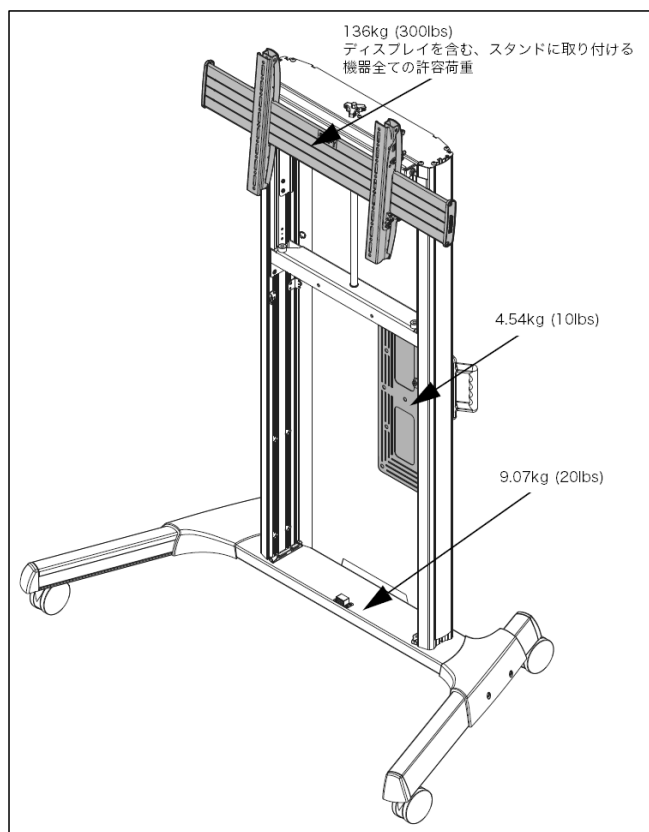
■組み立ての前に

! 製品の耐荷重を超えると、重傷または機器の損傷につながる可能性があります。設置取付業者の責任において、XPA1Uヘッドアセンブリに取り付けられているディスプレイを含むすべてのアクセサリとコンポーネントの合計重量が136 kgを超えないようにしてください。

! 重量級のディスプレイで使用する際、場合によっては不安定となり転倒を引き起こし、死亡または重傷を負う可能性があります。参考として下の図を参照してください。

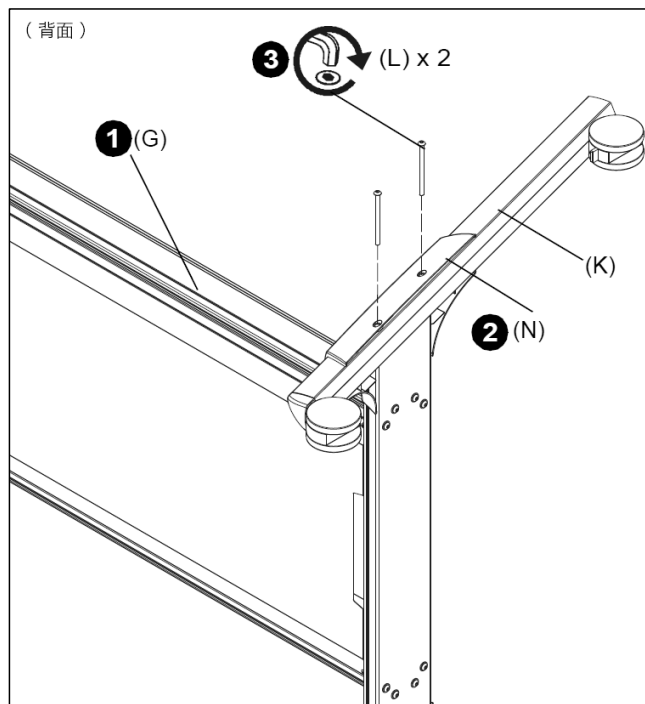
! コンポーネントブラケット (C) に取り付けられたすべてのアクセサリと機器の合計重量は4.54 kg (10lbs)、下部ブラケットに取り付けられたすべてのアクセサリとコンポーネント (CPUなど) の合計重量は9.07 kg (20lbs) を超えないようにしてください。

許容重量を超えると、機器等の損傷につながる可能性があります。



【各部の許容重量】

■組み立て手順



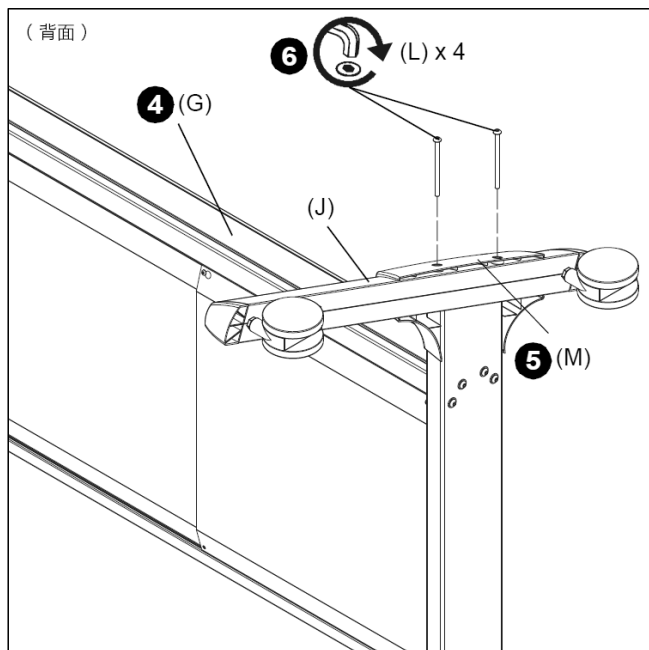
【図-1】

! ネジを挿入し、六角キーまたはハンドヘルドドライバーで手動である程度回して仮止めしてから、六角頭ドリルビットと電動ドリルを使用して取り付けてください。

! はじめから電動ドリルを使用してボタンヘッドキャップネジを挿入すると、取り付け穴が損傷する場合があります。

■キャスターベースの組み立て

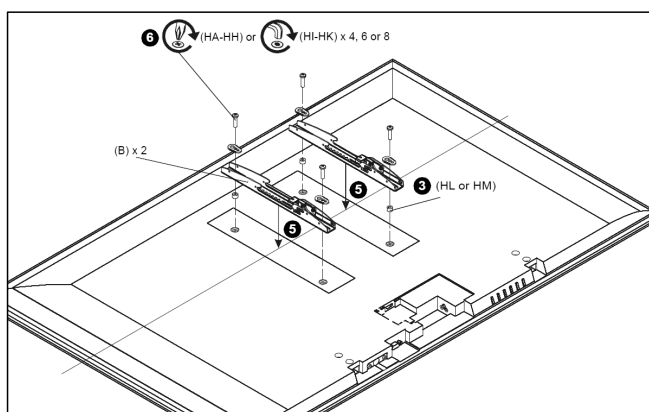
1. 左側のコラムアセンブリ (G) をキズが付かないように保護マットを敷いた丈夫なテーブルの上に載せます。(図-1参照)
2. 右側のキャスターレッグ (K) に右側のカバー (N) を重ねて配置してください。カバーの穴と脚およびコラムアセンブリベースの穴が通るようにセットしてください。(図-1参照)
3. 2本の5 / 16-18 x 3 3/4インチボタンヘッドキャップネジ (L) を使用して、脚 (K) とカバー (N) をコラムアセンブリ (D) に固定してください。(図-1参照)



【図-2】

4. コラムアセンブリ (G) の右側に移ります。
(図-2参照)
5. 左のカバー (M) を左のカートレッグ (J) に置き、カバーの穴をレッグとコラムアセンブリベースの穴に合わせます。(図-2参照)
6. 2本の5 / 16-18 x 3 3/4" ボタンヘッドキャップネジ (L) を使用して、脚 (J) およびカバー (M) をコラムアセンブリ (G) に固定してください。(図-2参照)

■ディスプレイにブラケットを取付ける



【図-3】

1. ディスプレイを傷がつかないようにマットなどで保護したテーブルに伏せた状態で置いてください。

不適切な直径のネジを使用すると、ディスプレイが損傷する可能性があります。適切なネジであれば、ディスプレイの取り付け穴にスムーズにねじ込むことができます。

2. 付属のネジセットから (HA-HK) (4mm、5mm、6mm、または8mm) いくつかの近似と思われるネジを取り出し、ディスプレイの取り付け穴と比較して、ネジの直径を選択してください。(図-3参照)

3. スペーサーを選択してください。(図-3参照)

- ・ ディスプレイの取り付け穴部分がくぼんでおらず、両方の支柱 (B) がディスプレイに対して平らになる場合、スペーサーは不要です。
- ・ ディスプレイの取り付け穴部分がくぼんでいる場合、またはディスプレイに突起があり、ブラケット (B) 部分の平らな配置を妨げる場合、スペーサー (HLまたはHM) を使用する必要があります。

⚠ 不適切な長さのネジを使用すると、ディスプレイが損傷する可能性があります。

⚠ 適切なネジは、ディスプレイ取り付け穴の底部に接触しない範囲の長さのものを選択して、正しく固定してください。

4. ネジの長さを選択してください (図-3参照)。

手で、ユニバーサルワッシャー (HN)、アップライト (B)、選択したスペーサー (HLまたはHM) を介して、選択した直径 (HA、HD、HGまたはHI) の一番短い長さのネジをディスプレイ取り付け穴に挿入してください。

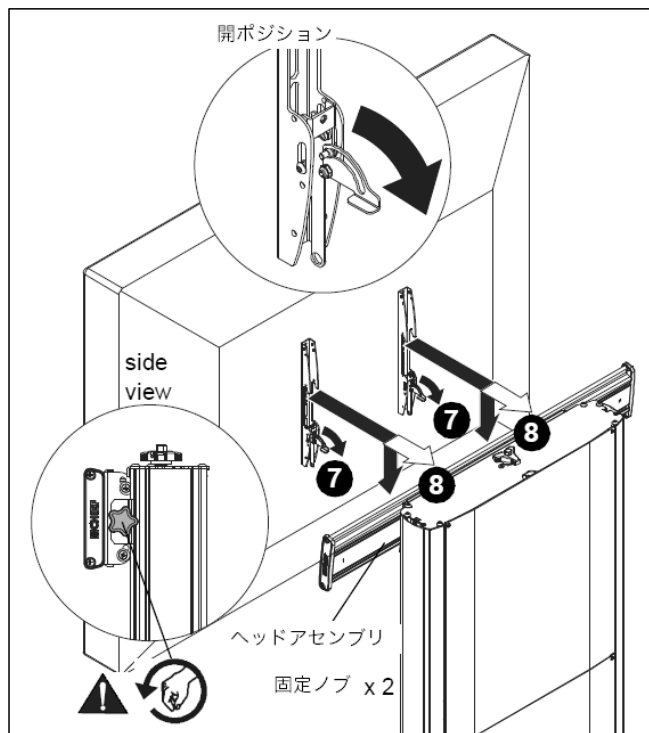
この時点でネジを穴にねじ込まないでください。

M8サイズのネジ (HI、HJまたはHK) を使用する場合、ユニバーサルワッシャー (HN) は必要ありません。

適切な長さのネジを選択するには、ワッシャーから突き出る長さが12~15mm程度ある必要があります。このとき、ネジの長さが短い場合は、より長いネジを選択してください。

このように必要な距離だけ突出する最短のネジを選択してください。

■ディスプレイマウントの取付け



【図-4】

5.ディスプレイにブラケット (B) を仮置きし、以下を確認してください。(図-3参照)

・支柱の中央 (B) は、設置後、できるだけディスプレイの背面の中央に近くなります。ブラケットの中心は、菱形の穴で示されます。

6.選択したネジとスペーサーを使用して、2つのインターフェイスブラケット (B) をディスプレイの背面に取り付けます。(図-3参照)

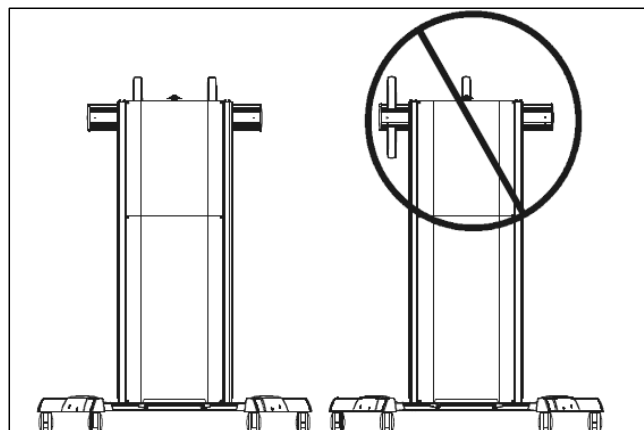
⚠ ディスプレイは非常に重い場合があります。ディスプレイを安全に持ち上げて、スタンドに設置するために必要に応じて操作できることを確認してください。

⚠ 適切な予防措置を講じないと、重傷または機器の損傷につながる可能性があります。

7.ディスプレイブラケットにあるラッチをを起こして、「オープン」位置になるようにしてください。(図-4参照)

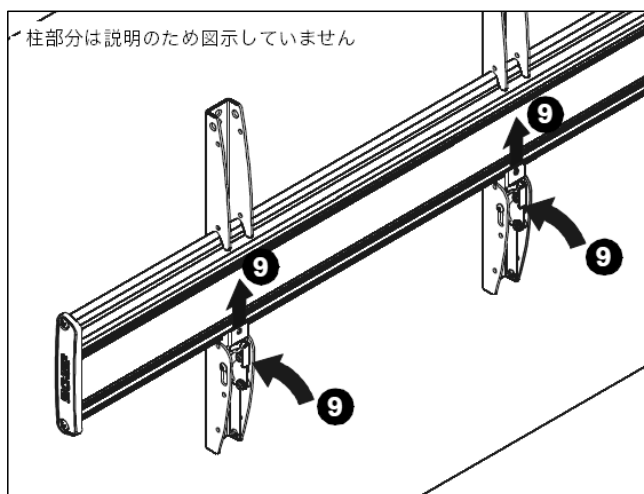
8.ヘッドアセンブリにディスプレイブラケット (B) を掛けます。(図-4参照)

安定した取り付けを確保するために、ディスプレイを取り付ける前に角度固定ノブを締めておいてください。



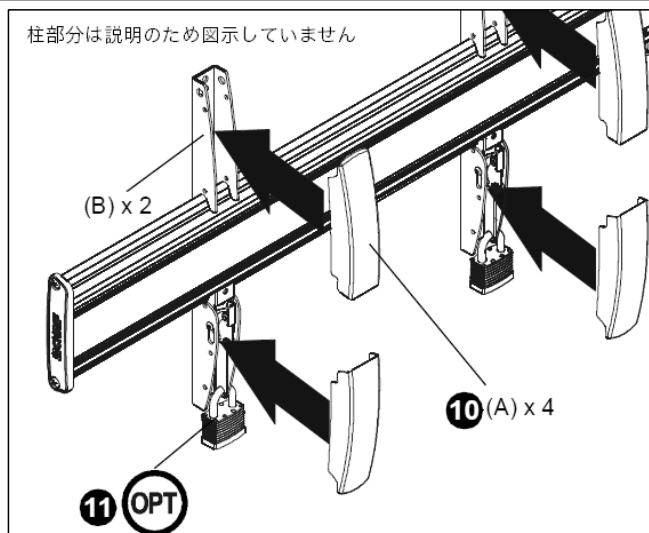
【図-5】

⚠ 重要 : 均等な重量配分を確保するために、支柱を柱アセンブリの中央に配置してください。(図-5参照)



【図-6】

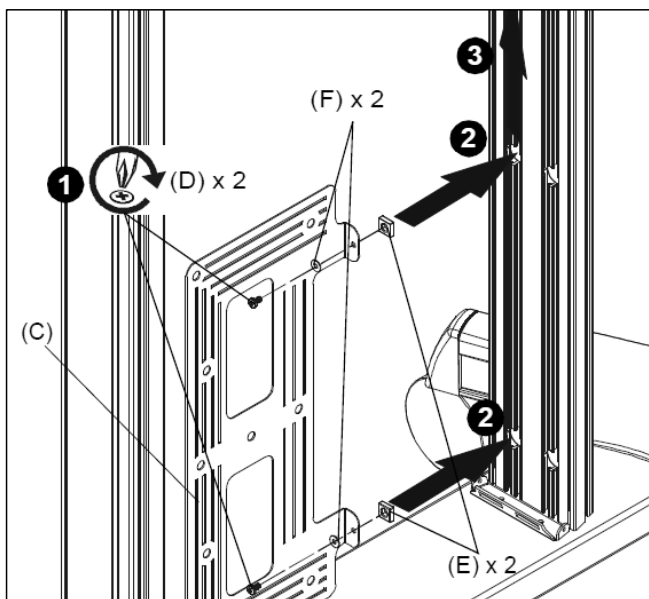
9.インターフェイスブラケットのラッチを倒して「閉じた」位置にセットし、ディスプレイをヘッドアセンブリに固定してください。(図-6参照)



【図-7】

11.必要に応じて南京錠（別途お買い求めください）を使用して、ブラケットをヘッドアセンブリから取り外しができないようにすることができます。（図-7参照）

■コンポーネントブラケットの取付け



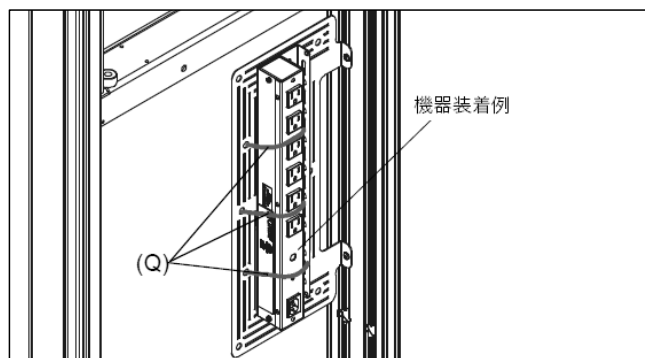
【図-8】

⚠ 注：コンポーネントブラケットは、コラムの両側に取付けることができます。

⚠ 注：コンポーネントブラケットを取り付けるには、下部カバーを取り外す必要があります。

詳細については、カバーの取り外しのセクション参照してください。

1. 2本の# 10ワッシャ (F)、コンポーネントブラケットの穴 (C)、および2本の# 10-24四角ナット (E) に2本の# 10-24 x 3/8"プラス小ねじ (D) を緩く取り付けます。（図-8参照）
2. 2つの# 10-24四角ナット (E) をコラムチャンネルの2つの開口部に挿入してください。（図-8参照）
3. コンポーネントブラケット (C) をスライドさせて希望の取り付け位置の高さまで持ち上げます。（図-8参照）
4. 高さが決まったらネジを15Nmのトルクで締めてください。（図-8参照）



【図-9】

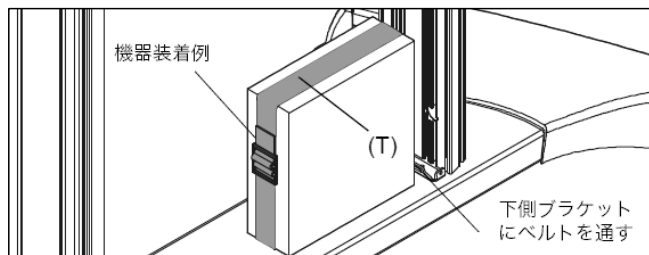
⚠ 警告：制限している耐荷重量を超えると、重傷を負ったり、機器が損傷したりすることがあります。取付業者の責任において、コンポーネントブラケット (C) に取り付けられたすべてのアクセサリとコンポーネントの合計重量が4.54 kg (10lbs) を超えないようにしてください。許容重量を超えると、機器またはコンポーネントが損傷する可能性があります。

⚠ 重要：支柱または高さ調整機構の上部に位置するような高すぎる位置にコンポーネントブラケットを取り付けしないでください。高さ調整機構に干渉する可能性があります。詳細については、高さ調整セクション参照してください。

- 5.必要に応じて、ケーブルタイ (Q)、ケーブルクリップ (U)、またはネジを使用して、コンポーネントをコンポーネントブラケットに取り付けます。（図-9参照）

⚠ 注：コンポーネントブラケットは、電源タップ、メディアプレーヤーなどの小型のオーディオ/ビデオコンポーネントを取り付けるように設計されています。

■CPUの組み込み（必要に応じて）



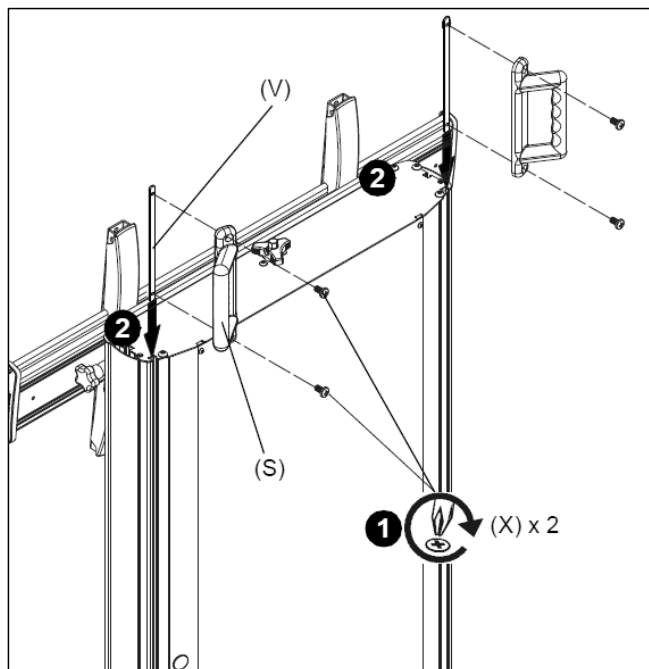
【図-10】

⚠ 注：コンポーネントブラケットを取り付けるには、下部カバーを取り外す必要があります。詳細については、カバーの取り外しのセクション参照してください。

1. CPUストラップ (T) を下部ブラケットの穴とCPUの周りに通して、CPUを支柱ベースに固定してください。（図-10参照）

⚠ 警告：重量を超えると、重傷を負ったり、機器が損傷したりすることがあります。取付業者の責任において、下部ブラケットに取り付けられたすべてのアクセサリとコンポーネントの合計重量が9.07 kg (20lbs) を超えないようにしてください。許容重量を超えると、機器またはコンポーネントが損傷する可能性があります。

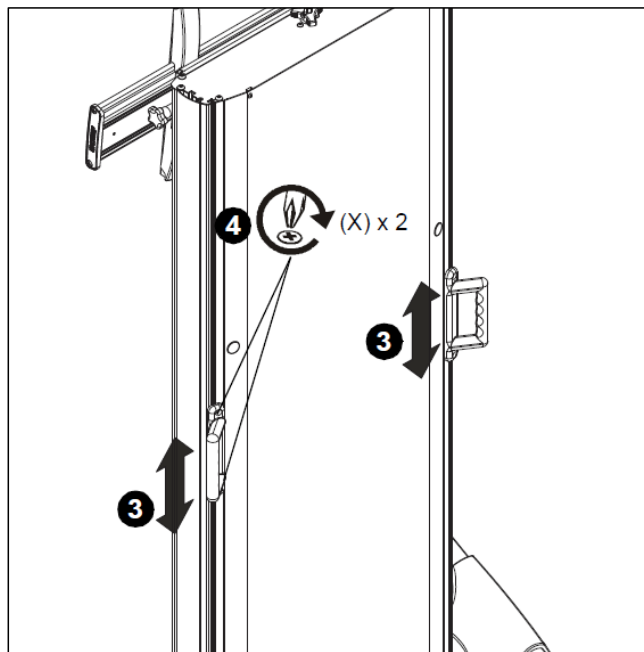
⚠ 注：CPUストラップは、ラックマウント固定式でないようなCPUまたはオーディオ/ビデオコンポーネントで使用するよう設計されています。



【図-11】

■ハンドルの取り付け

1. 2つの1 / 4-20 x 5/8 "プラスネジ (X) を各ハンドル (S) の穴からスライドナット (V) に仮止めし、緩く取り付けます（図-11参照）。
2. 各ハンドルをスタンドの後ろのスロットにスライドさせます。（図-11参照）



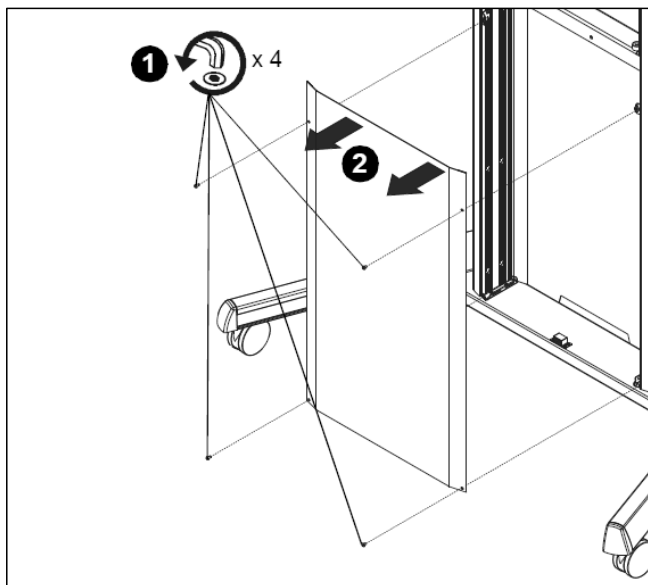
【図-12】

3. ハンドルを希望の高さに調整してください。（図-12参照）

・ ハンドルの参考高さは地面からおよそ110cmの位置が目安です。ディスプレイの高さやハンドル操作のしやすさから取付位置は適宜調整してください。

4. 各ハンドルの2本のネジを締めて、ハンドルを目的の高さ位置で固定してください。（図-12参照）

■カバーの取り外し/アクセス/再取り付け

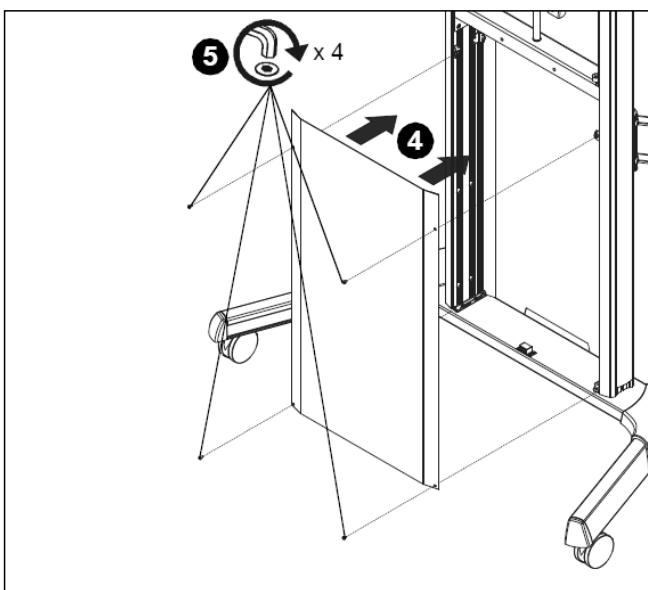


【図-13】

! 注：セキュリティを強化するために、前面カバーには4つのボタンヘッドキャップネジが取り付けられています。ただし、容易にスタンドの内部にアクセスできるように、ドアの内側に磁石を使用して密着させることができるため、このような運用をされる場合にはネジを再度取り付ける必要はありません。

1. フロントカバーをスタンドに固定している4つのボタンヘッドキャップネジを取り外してください。
(図-13参照)

2. フロントカバーをスタンドから引き離してください。
(図-13参照)



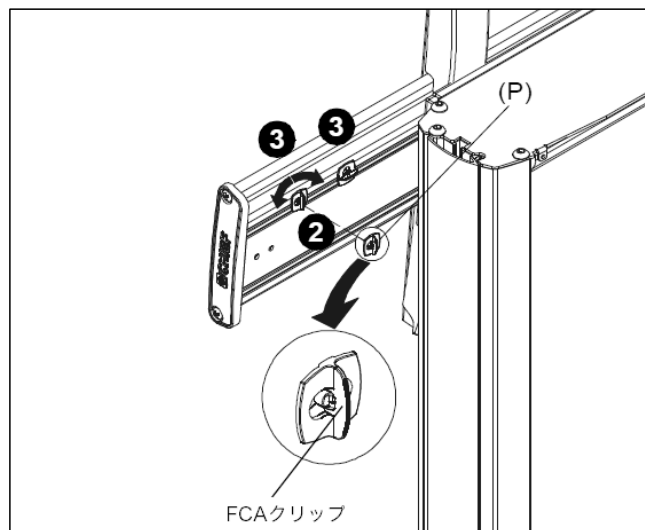
【図-14】

3. 必要に応じて、アクセサリや機器を取付けてください。

4. マグネットを使用して、スタンドにフロントカバーを取り付けます。(図-14参照)

5. (必要に応じて) セキュリティを強化する必要がある場合は、4つのボタンヘッドキャップネジを再度取り付けます。(図-14参照)

■接続ケーブルの処理



【図-15】

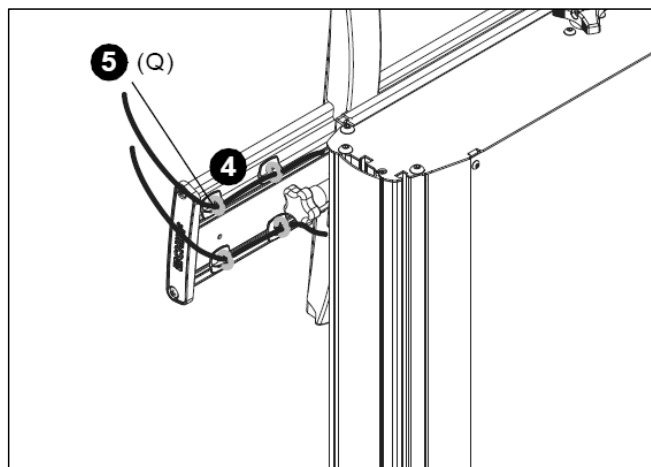
メモ：機器と接続するケーブルの処理方法や経路は、取り付けられているディスプレイのタイプとユーザーの必要に応じて異なります。

1. FCAクリップ (P) をディスプレイブラケットの背面の溝にクリップハンドルが垂直位置になるように押し付けてください。(図-15参照)

2. クリップハンドルが水平位置になるように、FCAクリップ (P) をいずれかの方向に90°回転させると固定することができます。
(図-15参照)

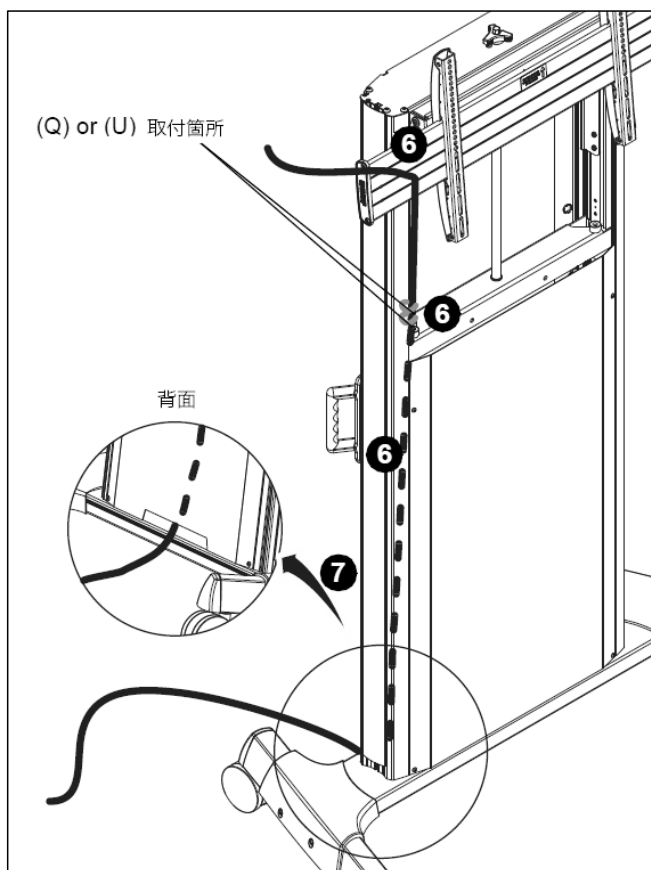
3. インストールするすべてのクリップについて、手順1～2を繰り返してください。

■ケーブルフックの取付け

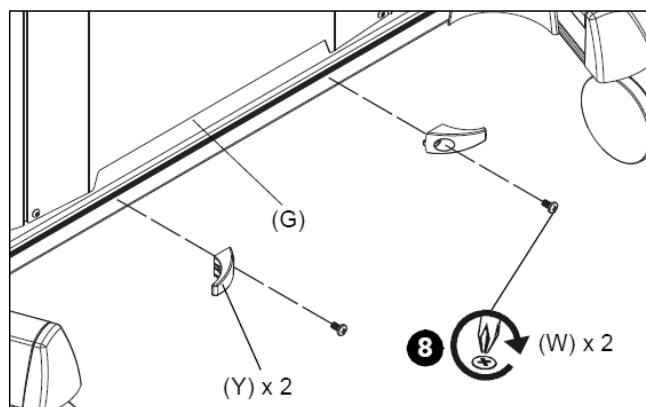


【図-16】

4. 接続ケーブルの処理に使用するFCAクリップ (P) に沿ってケーブルを配線してください。(図-16参照)
5. ケーブルタイ (Q) を使用して、ケーブルをFCAクリップに固定してください。(図-16参照)



【図-17】



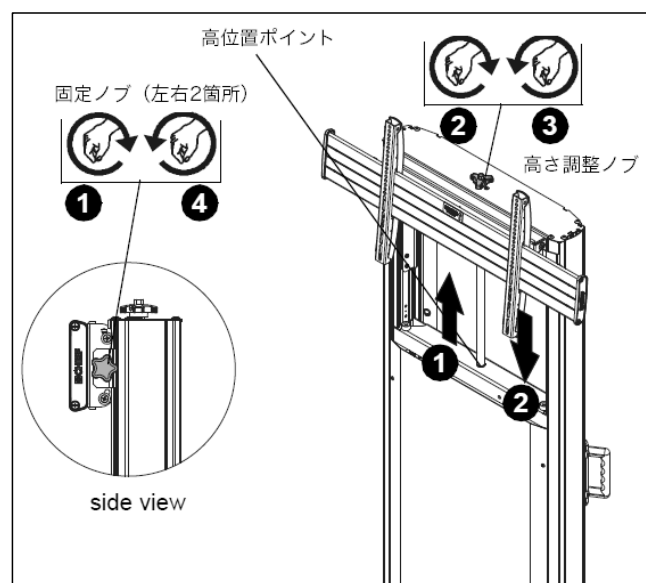
【図-18】

8. 2本の1 / 4-20 x 1/2"プラスねじ (W) を使用して、2本のケーブルフック (Y) をコラムアセンブリ (G) の底部に取り付けてください。(図-18参照)

9. 必要に応じて、ケーブルフックにケーブルを巻き付けてください。

■各部の調整

■スタンドの高さ調整



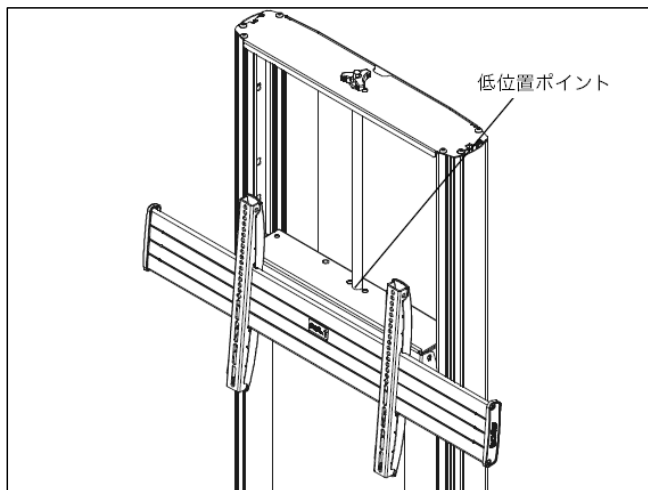
【図-19】

1. ヘッドアセンブリの両側にある2つの固定ノブを緩めます。(図-19参照)
2. 高さ調整ノブを時計回りに回すと、ディスプレイが上がります。(図-19参照)
3. 高さ調整ノブを反時計回りに回すと、ディスプレイが下がります。(図-19参照)

⚠ 警告：調整キャリッジをその上限または下限を超えて上下させないでください。最大高さ位置と最低高さ位置は図-19および図-20に示してあります。

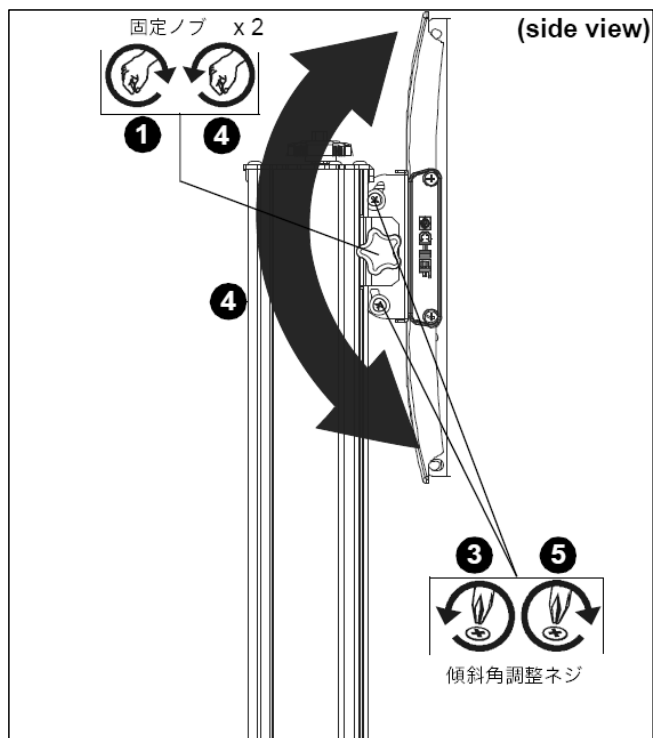
⚠ 注：高さ調整ノブのすぐ上のボルトを回して高さを調整するには、1/2インチ（13mm）ソケットレンチまたは電動ドライバーを使用することもできます。

4.ヘッドアセンブリの両側にある2つの固定ノブを締めます。（図-19参照）



【図-20】

■ディスプレイの傾斜角調整



【図-21】

⚠ 警告：ディスプレイが取り付けられているときにピッチ調整ネジを取り外すと、ディスプレイがマウントから落下します。ディスプレイをマウントに取り付けている間、ピッチ調整ネジは緩めるだけで、完全に取り外さないでください。

5.ヘッドアセンブリの両側にある2つの固定ノブを緩めます。（図-21参照）

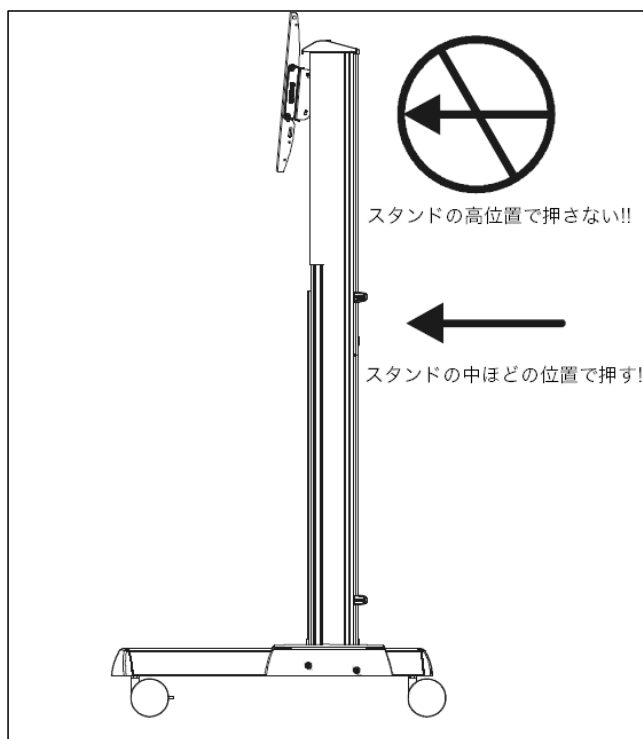
6.ピッチ調整ネジを緩めて、ピッチを調整できるようにしてください。（図-21参照）

7.必要に応じてピッチを調整してください。（図-21参照）

8.ピッチ調整ネジを締めて、ピッチ位置をロックしてください。（図-21参照）

9.ヘッドアセンブリの両側にある2つの固定ノブを締めます（図-21参照）

■スタンドの使用とメンテナンス



【図-22】

⚠ 警告：重傷または死亡のリスクがあります。

リモコンまたはおもちゃをスタンドに置くと、子供がスタンドに登るのを促し、スタンドが子供の上に転倒する可能性があります。

スタンドにリモコンやおもちゃ等を置かないでください。

⚠ 警告：重傷または死亡のリスクがあります。

オーディオ機器やビデオ機器をスタンドに移動すると、スタンドが倒れたり、子供の上に転倒したりすることがあります。

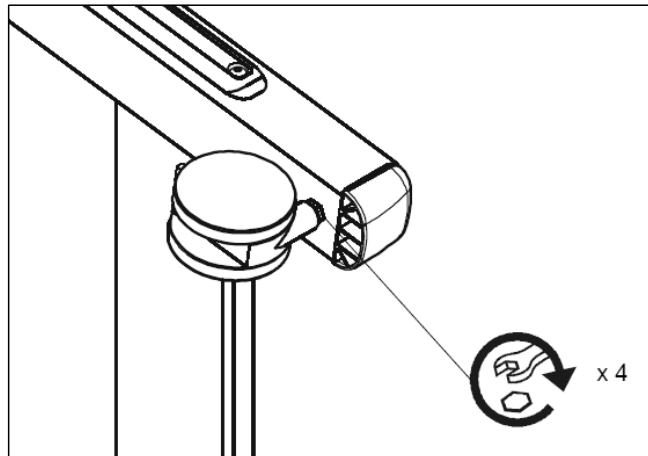
オーディオやビデオ機器をスタンドに移動しないでください。

⚠ 警告：スタンドでの負傷の可能性を回避するために、16歳未満の子供にスタンドを移動させないでください。

このスタンドを移動できるのは大人のみです。スタンドを移動させる際にはゆっくりと移動させてください。スタンド上部の重心が高くなる位置に力を加えず常に中央部分を押してください。スタンドは引っ張らないでください。(図-22参照)

⚠ 注：XPA1Uスタンドには、ユーザー自身が修理できる部品はありません。

1. スタンドは常に水平な硬い床に設置してください。極端に柔らかいマットの上に設置すると、移動できないばかりか、転倒の可能性やキャスターの破損につながります。

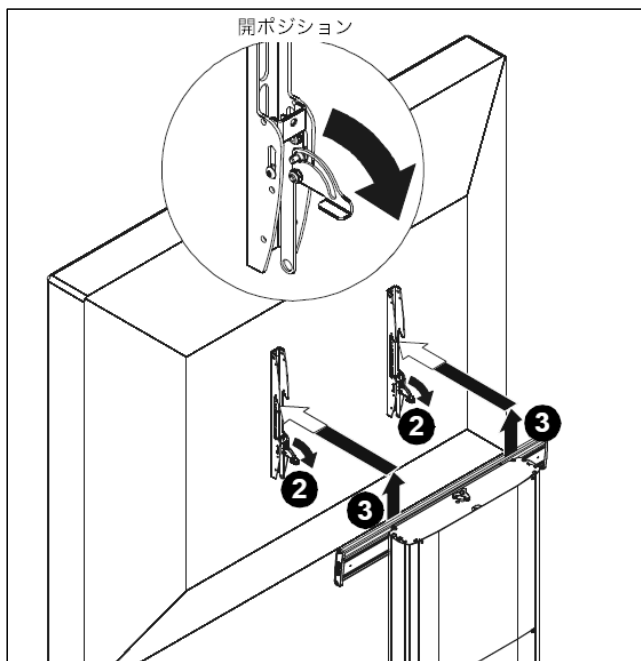


【図-23】

2. スタンドを移動しないときは、常に車輪をロックしてください。
3. キャスターの六角ナットを時々確認して締めます。(図-23参照)

これらは、特に平らでない地面で使用了後に必ず点検してください。

■スタンドからディスプレイを取り外す



【図-24】

1. スタンドからディスプレイを取り外す際、南京錠が取り付けられている場合、インターフェイスブラケットの支柱から南京錠を取り外してください。

2. ディスプレイブラケットにあるラッチを起こして、「オープン」位置になるようにしてください。(図-24参照)

⚠ 警告：ディスプレイは20kgを超える場合があります。スタンドにディスプレイを設置または配置するときは、常に2人以上の取付業者が作業してください。

3. ディスプレイをスタンドから慎重に持ち上げてください。(図-24参照)

memo

– <http://www.avc.co.jp/>



■ システム販売事業部

＜首都圏＞ 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー 8階
＜関西＞ 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25

TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144